

平成 28 年度
教育委員会事務の点検評価報告書

平成 29 年 8 月
利根町教育委員会

目 次

I	点検及び評価の概要	1
II	第4次総合計画における施策との関係	2
III	点検評価の結果	
1	就園・就学支援の充実	3
2	義務教育環境の整備	6
3	義務教育内容の充実	9
4	学校給食の充実	15
5	学校保健の充実	19
6	家庭・地域社会との連携強化	21
7	生涯学習活動の推進	24
8	生涯学習環境の整備充実	26
9	文化活動の振興	29
10	歴史的財産の保全	31
11	生涯スポーツの推進	34
IV	教育委員会の運営状況	37
V	点検評価員の意見について	42

I 点検及び評価の概要

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

「第4次利根町総合振興計画 4期基本計画（平成25年度～平成29年度）」に掲げられた教育委員会所管の施策及び主な取組内容で、平成28年度に実施したものを対象にしました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 4期基本計画の施策及び主な取組内容について、教育委員会で点検・評価を実施しました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する者の意見や助言を受け、また、今後の施策改善に反映させるため、各施策・主な取組内容の成果や課題を明らかにしました。

Ⅱ 第4次総合振興計画4期基本計画における施策との関係

今回の点検評価にあたっては、「利根町第4次総合振興計画4期基本計画」に掲げた施策の中で、教育委員会が所管するものを対象にしました。

施策	主な取組内容
1 就園・就学支援の充実	① 就園支援の充実
	② 就学支援の充実
2 義務教育環境の整備	① 教育施設・設備の充実
	② 適正な学校規模の維持
3 義務教育内容の充実	① 確かな学力を身につけさせる教育の推進
	② 豊かなこころを育む教育の推進
	③ 健康や体力を育む教育の推進
	④ 社会の変化に適切に対応できる教育の推進
	⑤ 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進
	⑥ 教職員の資質向上
4 学校給食の充実	① 給食内容の充実
	② 学校給食施設・設備の充実
5 学校保健の充実	① 心身の健康管理対策の充実
	② 体力づくりの促進
6 家庭・地域社会との連携強化	① 地域ぐるみで育てる体制づくり
	② 学校安全対策の推進
	③ 地域に開かれた学校づくり
	④ 青少年の健全育成
7 生涯学習活動の推進	① 生涯学習意識の高揚
	② 自主的な生涯学習活動の支援
8 生涯学習環境の整備充実	① 社会教育施設の整備充実
	② 生涯学習の機会と場の提供
9 文化活動の振興	① 文化活動の支援
	② 文化イベントの充実
	③ 文化施設の整備と利用促進
10 歴史的財産の保全	① 文化財の保護
	② 伝統文化の保存・継承
11 生涯スポーツの推進	① スポーツ・レクリエーション活動の促進
	② スポーツ団体・指導者の育成
	③ スポーツ・レクリエーション施設の充実

Ⅲ 点検評価の結果

対 象 施 策	1 就園・就学支援の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■発達や学びの連続性を踏まえた幼保小連携に努めます。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【就園支援の充実】</p> <p>○私立幼稚園就園奨励補助金 子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園が対象で、対象になる私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の一層の振興を図りました。</p> <p>補助対象者は町内に住所を有し、対象となる私立幼稚園に在園している満3歳～5歳児の保護者で、別紙の対象基準に該当する方に交付し経済的負担を軽減することができました。</p> <p><u>《平成28年度実績》3園3件／交付総額 537,200円</u></p>	
<p>【就学支援の充実】</p> <p>○要・準要保護児童就学援助事業（小学校費） 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由によって就学困難と認められた児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより義務教育の円滑な実施を図るため、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、医療費の一部又は全額を支給しました。</p> <p>生活保護に準ずる世帯の児童を対象に就学援助を行うことで、経済的理由による不登校や長期欠席など就学を妨げる要因を緩和し、児童の就学を円滑にすることができました。</p> <p><u>《平成28年度実績》 小学校費32名／交付総額 1,616,062円</u> （要保護1名，準要保護31名）</p> <p>《参考》要・準要保護生徒就学援助事業（中学校費） 中学校費23名／交付総額 2,104,846円 （準要保護23名）</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない 経済的理由により就学が困難と認められた保護者に対し、必要な援助を実施することで、就学を円滑にします。 所得の格差によって不平等とならぬよう教育の機会均等を図るうえでも非常に重要であり必要性が高い。

<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>経済的理由により就学に困難を感じた保護者に年度途中でも対応できるよう，学校や各地区の民生委員に依頼し，就学困難な児童生徒の把握に努めました。</p> <p>また，就学時健康診断の際に，保護者への事前説明や町ホームページを活用し制度の周知を図りました。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか？</p>	<p>□達成 ■概ね達成 □未達成</p> <p>学校や民生委員との連携を図り，年度途中において援助が必要となった保護者に対しても援助するなど，対応することができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p>人間形成に大きな影響力を及ぼす幼児期の幼児教育の重要性は高まっており，幼稚園児保護者の経済的負担の軽減を目的とした就園奨励費補助金交付制度の普及により幼児教育の振興に努めることができました。</p> <p>また，幼稚園や保育園から小学校へ円滑につなげていくために，幼稚園，保育園，小学校が子供の成長を共に見守る幼保小連携を進め，要・準要保護児童就学援助事業により子育て家庭を支援し，適切な就学支援に努め，経済的理由による不登校や長期欠席の児童ゼロを目指していきます。</p> <p>平成29年度より就学支援の充実を図るため，特別支援学級に入級している児童生徒の保護者に対し，給食費や学用品費・通学用品費など補助します。</p>	

別紙

区分	補助限度額（年額）		
	在園中の第1子	在園中の第2子	在園中の第3子以降
平成28年度町民税（年額）			
生活保護世帯	308,000円	308,000円	308,000円
町民税非課税世帯	272,000円	290,000円	308,000円
町民税の所得割非課税世帯	(308,000円)	(308,000円)	(308,000円)
町民税所得割額が77,100円以下の世帯	115,200円 (217,000円)	211,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
町民税所得割額が211,200円以下の世帯	62,200円	185,000円	308,000円
上記区分以外の世帯	—	154,000円	308,000円

※階層区分ごとの多子世帯負担軽減の適用条件

「第Ⅰ・第Ⅱ・第Ⅲ階層の世帯」については、算定対象の年齢制限（小学校3年生以下の兄・姉を対象範囲とする。）を撤廃し、生計を同一にする者に限り、年齢に関わらず多子計算の算定対象とする。

「第Ⅳ階層・上記区分以外の世帯」については、小学校3年生以下の兄・姉を算定対象とする。

※ひとり親世帯等、在宅障害児（者）のいる世帯、そのほかの世帯（生活保護法に定める要保護者等特に困窮していると市町村の長が認めた世帯）の子どもの補助限度額については（ ）内の金額を適用する。

注1 世帯構成員中2人以上に所得がある場合は、父母とそれ以外の家計の主宰者である扶養義務者の所得割課税額を合算する。

注2 途中入園又は途中退園により、保育料が在園期間に応じて支払われている場合の国庫補助限度額は、次の算式を参考に減額して適用する。なお、次の算式で算出された金額を上限とする。

上記の単価×（保育料の支払い月数+3）÷15（百円未満を四捨五入）

注3 保護者が実際に支払った入園料・保育料の合計額が国庫補助限度額を下回る場合は、当該支払額を限度とする。

注4 市町村民税の所得割課税額については、住宅借入金等特別税額控除前の所得割課税額を用いて、所得階層区分を決定する。

対 象 施 策	2 義務教育環境の整備
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■児童・生徒が安全に安心して生活できる学校づくりを推進します。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【教育施設・設備の充実】</p> <p>○学校設備整備事業（小学校費・中学校費）</p> <p>○学校施設維持管理事業（小学校費・中学校費）</p> <p>○学校建設事業（小学校費・中学校費）</p> <p>老朽化に伴う施設の改修や設備の整備事業を緊急性・安全性の面から計画的に実施し、施設の耐久性・安全性の確保と、備品の充実により児童生徒の学習環境の向上及び教育内容の変化に対応するなど学校施設の整備改善を図るため、大規模改造工事等を行い学校運営の円滑化と安全性が確保されました。</p> <p>《平成28年度実績（主なもの）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校設備整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事務機器の借上げ（コピー機，印刷機，図書管理システム，教育用パソコン（PC63台，カラーレーザープリンター6台）等） ・学校管理備品（大判プリンター・カーテン・車椅子用机ほか）購入 ○小学校施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校植栽管理工事 ・文間小学校樹木伐採工事 ・布川小学校ガス管布設替工事 ○小学校建設事業 <ul style="list-style-type: none"> ・布川小学校大規模改造工事（Ⅱ期工事）監理業務委託 ・布川小学校大規模改造工事（Ⅱ期工事） ・大規模改造工事に伴う布川小学校職員室PC配線等移設設置工事 ○中学校設備整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事務機器の借上げ（コピー機，印刷機，教育用タブレットパソコン等機器（タブレット41台，電子黒板11台）等） ・学校管理備品（教卓，黒板クリーナー，カーテンほか）購入 ○中学校施設維持管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・利根中学校植栽管理工事 ・利根中学校プールろ過装置交換工事 ・利根中学校ガス管布設替工事 ・利根中学校給食室既設備品配管更新工事 	

○中学校建設事業

- ・利根中学校大規模改造工事（Ⅱ期工事）監理業務委託
- ・利根中学校大規模改造工事（Ⅱ期工事）
- ・大規模改造工事に伴う利根中学校職員室P C配線等移設設置工事

【適正な学校規模の維持】

現在、1つの学級の人数は40人までとなっています。小学校第1・2学年で35人を超える学級がある場合、中学校第1学年で35人を超える学級が3学級以上ある場合は1学級を増設することができ、国・県の学級編成基準により編成しております。

《望ましい学校規模》

- ・児童生徒が学ぶ意欲を高め、学力向上に向けた学習形態の工夫を行える複数の学級編成
- ・各教科の免許をもった教員が適切に配置できる規模
- ・生徒の希望する多様な部活動を設置できるような規模
- ・集団生活の中で切磋琢磨することで社会性や協調性を育みやすい規模
- ・教員の相互の指導工夫ができ、協力体制を組むことができる1学年2学級以上の規模

<p>必要性 必要不可欠な事業か？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>必要性が高い <input type="checkbox"/>妥当である <input type="checkbox"/>必要性が少ない</p> <p>児童生徒の学習環境の向上，安全性の確保の観点から教育環境の整備・改修は必要不可欠です。</p>
<p>効率性 効率的に実施できたか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>効率よく実施 <input type="checkbox"/>概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/>効率が悪い</p> <p>施設等の老朽化対策として実施する改修事業は，多額の費用を要することから町の財政上単独では困難なため，国の補助金に頼らざるを得ません。この補助金の交付決定を受け実施した大規模改造工事により，施設の改修が効率よく実施することができました。</p>
<p>達成度 目標を達成しているか？</p>	<p><input type="checkbox"/>達成 <input checked="" type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>未達成</p> <p>布川小学校及び利根中学校校舎の内部改修の大規模改造工事が完了し，文間小学校の屋内運動場大規模改造工事については，翌年度へ繰越となりましたが概ね達成されています。</p>

現状の課題・今後の取り組み等

学校教育の教育効果を高め，教育活動の充実を図るためには望ましい学校規模と学級規模を確保し，教育環境を整えることが重要で，老朽化した学校施設や設備の改修を計画的に進めて行く必要があります。校舎の大規模改造工事は，今年度で全て完了しましたが，施設等の整備には多額の費用を要するため，この費用の確保が難しい状況にあります。文間小学校を除く他3校の屋内運動場について

は、未改修であり、今後計画的に改修事業を進め、子どもたちが安全に学べる環境の整備充実を図ります。

また、学校内の低木樹木剪定については、3年に1回計画的に実施しており、高木についても同様に平成29年度から実施いたします。

通学路の安全確保については、通学路の安全確保に向けた取組を継続的、効果的に実施するため「通学路交通安全プログラム」により関係機関が連携し、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

平成29年度に、「通学路交通安全プログラム」の危険対策箇所となっている利根中学校南側にある変則的な十字路に、自転車誘導帯の路面表示や自転車だまりを作るためポストコーンを設置するなど自転車通行の危険性を防ぐための安全対策を講じます。

対 象 施 策	3 義務教育内容の充実
担 当 課	指導室・学校教育課
推 進 目 標	■一人ひとりが輝く活力ある学校づくりを推進します。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【確かな学力を身につけさせる教育の推進】</p> <p>○学力向上推進事業</p> <p>○語学指導事業</p> <p>○小中学校非常勤講師配置事業</p> <p>○東京藝術大学との交流事業</p> <p>確かな学力を身につけさせるため、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図るため、事業を実施しました。</p> <p>○学力向上推進事業</p> <p>教育指導や学習状況に改善に役立てるため、児童生徒一人ひとりの学力学習状況を多面的に把握分析しました。</p> <p>《平成28年度実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査の実施（平成28年4月19日実施） <ul style="list-style-type: none"> 小学校6年生（国語・算数） 中学校3年生（国語・数学） ・学びの広場サポートプランの実施 <ul style="list-style-type: none"> 町内の小学校4・5年生において、「算数の四則計算等」の知識・技能の習得、中学校1・2年生においては、基礎学力の確かな定着を図る目的で、夏休み期間中の5日間「学びの広場」を実施しました。 <p>○語学指導事業</p> <p>中学校においては、生徒の語学力、特にコミュニケーション能力の開発に十分役立っており、国際化や国際交流の一翼を担っています。</p> <p>また、生徒の英語インタラクティブフォーラム大会出場の際には、英会話の指導に当たり貢献しました。</p> <p>小学校においては、各学校へALTを1名配置し、楽しく英語に触れながら外国の文化や習慣に対する関心が高まりコミュニケーション能力の素地をつくるなど国際感覚の育成に努めました。</p> <p>また、夏休み期間中に小学校教員を対象に外国語活動研修会を実施し、今後の指導力向上を図りました。</p>	

《平成28年度実績》

- ・小学校専属ALT 3名
 - 1・2年生 生活科
 - 3・4年生 総合的な学習の時間
 - 5・6年生 外国語活動の時間
- ・中学校専属ALT 1名
英語教諭とのチーム・ティーチング

○小中学校非常勤講師配置事業

各小中学校へ非常勤講師を2名配置し、チーム・ティーチングによる算数・数学に特化した教科指導及び個別指導を行い、学力・学習の充実・向上を図りました。

《平成28年度》

- ・小学校3校×講師2名 1日／5時間×週／5日×年／42週
- ・中学校1校×講師2名 1日／5時間×週／5日×年／42週

○東京藝術大学との交流事業

美術の専門的知識・技能を有する学生又は卒業生を派遣し、児童生徒の絵画制作の支援を行いました。絵画の構図や色の使い方の基礎を習得し、作品の仕上げも良く秋の作品展に出展しました。

《平成28年度実績》

- ・小学校4・5年生 1クラス2時間×2回
- ・中学校1・2年生 1クラス2時間×2回

【豊かなこころを育む教育の推進】

○教育研究指導事業（うち教育相談事業）

○適応指導教室設置事業

基本的な生活習慣の育成、規範意識の確立、他人を思いやる心、感動する心など、体験的な活動を重視し、教育活動全体を通じて、豊かな心を支える道徳性の育成を図るため、事業を実施しました。

○教育相談事業

専門の教育相談員及び特別支援教育相談員並びにスクールソーシャルワーカーにより児童生徒及び保護者が学校又は学校外で抱える諸問題について適切な指導、助言及び援助を行い問題の改善や早期解決を図りました。

・教育相談員

相談受付：毎週月～金曜日 *学校巡回 水・木曜日

相談件数（来所，電話，訪問，巡回合計）186件

- ・スクールソーシャルワーカー

訪問日：週2日

*学校巡回，家庭訪問 72日

(家庭訪問20件を含む)

○適応指導教室設置事業

利根町図書館2階に適応指導教室「とねっ子ひろば」を設置し，町内の小中学校に在籍している児童生徒で何らかの理由により不登校状態にある子どもたちの学校復帰と社会的自立を支援するため，学校勤務経験（教員免許有）のある指導員2名を配置し，集団生活への適応，学習支援等を行いました。

適応指導教室と学校が連携を図り，通室中の生徒が学校行事に参加するなど，学校復帰に向けた支援を行いました。

《平成28年度実績》

- ・配置指導員：2名（教員免許を所有している者）
- ・開設時間：月曜日から金曜日但し，学校の休業日を除く
午前9時から午後2時

【健康や体力を育む教育の推進】

○中学校補助金

生涯にわたって健康で安全な生活を送るための実践力と運動に親しむ資質や能力を培い，体力の向上を図るため，各種大会の対外試合への支援を行い，丈夫な体とたくましい心の育成を図りました。

《平成28年度実績》

- ・補助額 2,700,000円

【自立と社会参加を目指す特別支援の推進】

○教育支援事業

○特別支援教育支援員派遣事業

○小・中学校教育助成事業（特別支援学級費）

特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する早期からの一貫した教育的支援を実施し，自ら生き抜く意欲と態度の育成を図るため，事業を実施しました。

○教育支援事業

適切な就学指導を進めるための調査を実施し，特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の望ましい就学先等について協議を行いました。

また，町内の特別支援学級在籍児童生徒と町内在住の県立美浦特別支援学校在籍児童生徒の交流活動を行い，連携した支援体制の強化を図りました。

《平成28年度実績》

利根町教育支援委員会 年3回開催
委員10名 調査員5名

○特別支援教育支援員派遣事業

文小学校へ6名・文間小学校へ4名、布川小学校へ6名、利根中学校へ3名の計19名の特別支援教育支援員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活支援、学習支援等を行いました。児童生徒一人ひとりに付き添うことで、細かなところまで目を配ることができ、諸問題等の早期発見、早期解決につながる支援を行うことができました。

○小・中学校教育助成事業（特別支援学級費）

特別支援学級教材備品等の購入により実態に即した学習を行うことができ、学習意欲の向上を図りました。

【教職員の資質の向上】

○教育研究指導事業

○県派遣事業

○利根町教育研究会補助金

教育専門職としての立場と特性を再確認し、社会の変化に主体的に対応する教育が推進できるよう研修体制の充実及び指導力向上を図るため、事業を実施しました。

○教育研究指導事業

・訪問指導

各小中学校を訪問し、学校経営への協力・助言や学習指導・生徒指導等への指導・助言を行い、教育内容の充実や活性化を図りました。

・教職員研修事業

教職員の教科の指導力と資質の向上を図るため、先進校視察や各種研究発表会・研修会等への積極的な参加を支援しました。

《平成28年度発表会・研修会参加実績》

・授業力ブラッシュアップ研修授業発表会

利根町立布川小学校

龍ヶ崎市立長山中学校

守谷市立御所ヶ丘中学校

・プロジェクトチーム訪問授業発表会

取手市立取手第一中学校

・小学校外国語活動研修会

○県派遣事業

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条の規定に基づき、指導主事を1名配置し、学校における教育課程，学習指導，教員研修等指導・助言を行い，教育行政上の問題など適切に対応し，各学校の教育活動の充実を図りました。

○利根町教育研究会補助金

利根町の教職員で組織されている研究会で，部会ごとに研究内容・方法等の成果や課題を検証・評価し，情報交換を行い教職員の資質・能力の向上及び児童生徒の学習意欲を高めることができました。

《平成28年度実績》

- ・生徒指導研修会
- ・人権教育研修会
- ・生徒指導主事連絡会
- ・町内巡検
- ・教育研究発表会

<p>必 要 性 必要不可欠な事業か？</p>	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>教育は，一人ひとりの人格の完成を目指すものであり，子どもたちの学力，体力，豊かな心を育む教育のために必要不可欠です。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>特別な支援が必要な児童生徒に対し，教育支援員を配置し支援を行うことができました。また，様々な心の問題を解決するための教育相談については，専門の教育相談員及び特別支援教育相談員並びにスクールソーシャルワーカーを配置し，問題の改善や早期解決を図ることができました。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか？</p>	<p>□達成 ■概ね達成 □未達成</p> <p>義務教育内容の充実を図るため，学力の向上に向けた施策や教育相談，特別支援教育支援など子どもたち一人ひとりに対し支援することができました。</p>

現状の課題・今後の取り組み等

情報化やグローバル化といった社会変化が加速して進む中，すべての子どもたちがこうした社会変化に対応し，前向きによりよく生き抜く力を身に付けさせるため，また，子どもたちの個性や特性を尊重し，それらの能力を伸ばし，社会の一員として生きる基盤を育てるために，一人ひとりのニーズに合った質の高い教

育環境を整えるように努めてまいりました。

平成28年度は、新規事業として、小中学校非常勤講師配置事業、東京藝術大学との交流事業、適応指導教室設置事業を実施しました。また、語学指導事業では、ALTを2名増員し、小学校での外国語活動の充実を図りました。

小中学校非常勤講師配置事業では、算数・数学の授業で主に個別支援を行い、児童生徒のつまずき等に対してきめ細かな支援を行なうことができました。東京藝術大学との交流事業では、各小中学校に絵画指導において専門性の高い学生等を派遣し、直接児童生徒に指導を行った結果、作品の仕上がりに向上がみられました。適応指導教室設置事業では、なんらかの理由で学校に登校することができない中学生3名の支援に当たり、学校復帰に向けて学校・保護者との連携を図ることができました。

上記新規事業については、実施して1年目であり平成28年度の活動状況や成果等を検証し、より充実した取り組みにしていきたいと考えます。

また、特別支援教育支援員派遣事業では、各校の児童生徒の実態を正確に把握し、配置人数を決定していきたいと考えます。

対 象 施 策	4 学校給食の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■安全でおいしい給食を提供します。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【給食内容の充実】</p> <p>○学校給食運営事業（事務局費）</p> <p>○給食運営事業（小学校費・中学校費）</p> <p>学校給食法第2条に掲げる7つの目標を達成できるよう、安全でバランスよく栄養摂取できるおいしい給食を提供し、児童生徒の健康増進と体力の向上を図りました。</p> <p>《学校給食の目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な栄養の摂取による健康の増進を図ること。 2. 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。 3. 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。 4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。 5. 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。 6. 国や地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。 7. 食料の生産、流通及び消費について正しい理解に導くこと。 <p>《食に関する教育》</p> <p>近年、子どもたちに偏った栄養摂取・朝食欠食等の食生活の乱れや、肥満・痩身傾向など、健康を取り巻く問題が深刻化しています。</p> <p>また、食を通じて地域を理解することや食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解していくことも重要です。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要となっています。児童生徒がその発達段階に応じて食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食に関する指導を行いました。</p>	

《地産地消の取り組み》

利根町や茨城県の活性化を含め、子どもたちに提供する給食の安心・安全を第一に考え地場産物を活用しています。週に4回の米飯給食には、利根町産の米を使用しています。

平成28年度より、「茨城をたべよう推進協議会」が制定した第3日曜日の「茨城を食べようDAY」の前の第2金曜日を「茨城を食べよう給食」とし、食育の推進及び町内の農業振興を図るため、地元食材（茨城県産を含む。）を購入する経費を助成し、地産地消に取り組んでいます。布川小学校及び利根中学校の大規模改造工事のため、「茨城を食べよう給食」を第1学期と第3学期計6回実施しました。

《平成28年度実績》

学校給食地元食材提供事業助成金（4校 1,172,136円）

《自校方式での給食調理》

栄養教諭を中心とした各学校の調理師による毎月の献立会議において、学校給食に使用する食品及び調理法の検討、新献立の開発、衛生面・安全面の研修等を行い、あわせて情報交換により学校給食の内容の充実を図りました。

献立は栄養教諭が原案を作成し、献立会議において検討され、できるだけ多くの食品を組み合わせるような献立にし、季節の食材を取り入れつつ一般家庭において摂取しづらい栄養素が補充されるよう工夫しています。

さらには、給食を楽しんでもらえるようにリクエスト献立や、季節や行事を感じる献立を工夫しています。

決定された献立表は、各学校を通じて各家庭に配付しました。

平成28年度より、食育の推進及び学校給食の安全と給食事業の円滑な運営を図ることから、食育のための展示食及び学校給食衛生管理基準で定められている保存食については、町で助成することとなりました。

食材高騰等による給食費の不足を解消し、おいしい給食を提供しました。

《平成28年度実績》

献立会議	月1回	第1水曜日に開催
調理師会議	月1回	第4水曜日に開催
栄養教諭	利根中学校に1名	（各学校を巡回指導）
調理師	文小学校	4名（うち臨時調理師3名）
	文間小学校	4名（うち臨時調理師3名）
	布川小学校	6名（うち臨時調理師4名）
	利根中学校	7名（うち臨時調理師5名）

調理数	文小学校	219食
(5/1現在)	文間小学校	238食
	布川小学校	313食
	利根中学校	408食
給食費月額	小学校	4,030円 (1食あたり単価 240円)
	中学校	4,600円 (1食あたり単価 270円)
学校給食展示食及び保存食原材料助成金 (4校 420,780円)		

【給食施設・設備の充実】

- 給食運営事業 (小学校費・中学校費)
- 給食設備整備事業 (小学校費・中学校費)
- 給食維持補修事業 (小学校費・中学校費)

安全でおいしい給食を提供するため、「学校給食衛生管理基準」(文部科学省制定)に照らした適切な衛生管理及び円滑な給食運営のため設備の維持管理・効率化を図りました。

- 給食運営事業 (小学校費・中学校費)
- 給食設備整備事業 (小学校費・中学校費)
- 給食維持補修事業 (小学校費・中学校費)

給食用食器及び器具類の洗浄、消毒など給食施設設備のメンテナンス等を実施し、また、給食管理備品を購入し、円滑な給食運営と安全でおいしい給食を提供することができました。

平成28年度は、布川小学校及び利根中学校大規模改造工事の中で給食室の改修を行い、細菌、かび等が増殖しにくいドライシステム化になり、給食室内の設備も更新しました。また、大規模改造工事期間中は、民間業者に委託し弁当給食を提供しました。

《平成28年度実績 (主なもの)》

○給食施設設備のメンテナンス等実施状況

- ・配膳用小荷物専用昇降機点検業務 (11回/年)
- ・厨房機器点検清掃業務 (1回/年)
- ・換気扇フード・ダクト清掃業務 (1回/年)
- ・害虫駆除業務 (2回/年)
- ・給食室内衛生検査業務 (3回/年)
- ・グリストラップ清掃業務 (4回/年)
- ・生ゴミ処理機保守点検業務 (5回/年)
- ※大規模改造工事のため保守点検1回分 (9・10月分) 除く。
- ・その他消毒保管庫、冷蔵庫、ガスフライヤー、回転釜等修繕

<p>○給食管理備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校給食管理備品（調理器具等）購入 ・布川小学校大規模改造工事に伴う給食備品購入 ・中学校給食管理備品（調理器具等）購入 ・利根中学校大規模改造工事に伴う給食備品購入 	
<p>必 要 性</p> <p>必要不可欠な事業か？</p>	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として必要性が高まっています。</p>
<p>効 率 性</p> <p>効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>新たな助成金等により，食材の高騰等による給食費の不足も解消され，「茨城を食べよう給食」以外の日にも地元食材（茨城県産を含む。）を使用することができました。</p>
<p>達 成 度</p> <p>目標を達成しているか？</p>	<p>□達成 ■概ね達成 □未達成</p> <p>給食室の改修により，より衛生面での安全性が確保され，また，新たな助成金等により，利根町産の米，味噌だけでなく，茨城県産の食材（肉・野菜・乳など）を取り入れた安全でおいしい給食を提供することができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p> <p>学校給食施設については，平成28年度に利根中学校と布川小学校の給食室の改修が完了し，全ての学校がドライシステム化となりました。ドライシステム化により細菌，かび等が増殖しにくい給食室になりましたが，今後もより一層の衛生管理に努めていきます。</p> <p>学校給食運営につきましては，長年，給食費の改定を行わず提供してきました。平成28年度から新たな助成金等により，地元食材（茨城県産を含む。）を使用し，食材の高騰時にも，献立や食材の工夫等により，より良い学校給食の提供することができましたが，平成31年10月には消費税が10%になることから，今後は，安全でおいしい給食を継続して提供することが出来るよう学校給食費及び学校給食運営についても，検討が必要となってきます。</p> <p>地産地消の取り組みの学校給食地元食材提供事業については，今後，献立の工夫，仕入れ業者等と調整し，少しでも多くの地元食材（茨城県産含む。）を取り入れた給食を提供できるよう取り組んでいきます。</p> <p>児童・生徒に対する食生活の正しい知識と食習慣につきましては，栄養教諭を中心に各学校で取り組んでいます。利根中学校においては，平成29年度朝食の摂取率100%を評価指標に掲げ取り組んでいます。</p>	

対 象 施 策	5 学校保健の充実
担 当 課	学校教育課
推 進 目 標	■児童・生徒の心身の健康管理の徹底に努めます。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【心身の健康管理対策の充実】</p> <p>○児童・生徒健康管理事業</p> <p>○教職員健康管理事業</p> <p>○就学事務事業</p> <p>学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、児童生徒及び教職員並びに新入学予定児童の健康管理上必要な健康診断を実施し、適切な事後措置により、学校における健康管理の充実を図りました。</p> <p>【体力づくりの促進】</p> <p>○児童・生徒健康管理事業</p> <p>○中学校補助金</p> <p>児童生徒の基礎的な体力運動能力を伸長させるため、下記の事業を実施し学校体育の充実を図りました。</p> <p>○児童生徒健康管理事業</p> <p>体力テストを実施し、結果を集計し、数値・グラフ化することで児童生徒の体力向上及び指導を充実させることができました。</p> <p>○中学校補助金</p> <p>各種大会の対外試合への支援を行い、丈夫な体とたくましい心の育成を図りました。</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>学校保健安全法に基づき、就学時の健康診断及び児童生徒等の健康診断を実施し、健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保を資するため必要不可欠です。</p>
効 率 性 効率的に実施できたか？	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>学校医及び校長の指導の下、保健主事、学級担任、養護教諭等が連携して取り組むことによって健康診断を効率よく実施することができました。</p>
達 成 度 目標を達成しているか？	<p>■達成 □概ね達成 □未達成</p> <p>新入学予定児童に就学時健康診断を実施し、治療の勧告、保健上必要な助言を行い、児童生徒には、毎年、学校医による健康診断及び委託による各種検診を行い、疾病の予防、治療の指示等、児童生徒の健康の保持増進を高めることができました。</p>

現状の課題・今後の取り組み等

子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、生活習慣の乱れやメンタルヘルスなど様々な問題が生じています。心身の発達や健康状態など子供たちが自ら理解し健康の維持管理に努めるとともに、生涯を通して心身の健康問題に適切に対応できる自己管理能力の育成も必要となっています。

養護教諭・保健主事が中心となって保健指導や保健学習の充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカーや教育相談員等との連携をとりながら保健指導、健康相談の充実を図り、また家庭・地域へ保健教育の情報提供や啓発活動に努めています。

布川小学校及び利根中学校においては、大規模改造工事を実施したため、学校安全保健法に基づく学校環境衛生基準の測定を行い安全性の確認をいたしました。文小学校及び文間小学校においても、学校薬剤師の助言のもと、平成29年度に専門業者に委託し、臨時検査を実施いたします。今後も、学校薬剤師との連携のもと、健康的で快適な学校環境を満たせるよう日常検査、定期検査を実施し環境衛生の維持に努めます。

対 象 施 策	6 家庭・地域社会との連携強化
担 当 課	学校教育課・指導室・生涯学習課
推 進 目 標	■家庭や地域・学校が連携して健全な教育環境をつくります。

平成28年度の主な取組内容及び事業効果

【地域ぐるみで育てる体制づくり】

○家庭教育セミナー事業

子どもの心の理解，親の役割，親としての接し方等家庭教育に関する知識や家庭における教育力の向上を図りました。

講話，移動学習，七宝焼き，健康体操等

《平成28年度実績》家庭教育セミナー開設状況

対象者	登録者数	開催回数	延べ参加人数
児童生徒の保護者	34人	8回	112人

【学校安全対策の推進】

○日本スポーツ振興センター共済掛金事業

学校管理下での万が一の災害等（負傷，疾病，障害又は死亡）に対応するため，共済に加入し，児童生徒の災害に対し必要な給付を行っています。

《通学路安全対策》

通学路の安全確保に向けた取組を継続的，効果的に実施するため「通学路交通安全プログラム」により関係機関が連携し，常時見回りと点検・整備を行い，場合によっては草刈り等通学路の安全確保に努めました。

《ヘルメット補助》

中学生の自転車通学時のヘルメットを無償配付しました。

課外活動を終えた下校時など夕暮れから夜間にかけては交通量も増え危険なため，全面反射型のヘルメットを使用することにより，通学時の安全確保に努めました。

【地域に開かれた学校づくり】

総合的な学習や道徳の時間を利用して，地域住民との交流を行い，運動会などのイベントや行事に地域の高齢者の方を招待する等世代間の交流を通して学校と地域のつながりの強化を図りました。

《学校評議員の設置》

地域に開かれた信頼される学校を実現するため，学校が保護者，地域住民の意見や要望を的確に反映させ，家庭や地域社会と連携協力することが一層求められています。

学校評議員は学校の教育活動の実施，学校と地域との連携に関することに関して意見・助言をいただき学校運営に反映させています。

【青少年の健全育成】

○放課後子ども教室対策事業

○成人式典事業

○青少年相談事業

次世代を担う青少年の健全育成のため、青少年相談員、子ども育成会、PTA 連絡協議会等が様々な活動を実施しました。

○放課後子ども教室対策事業

子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進するとともに、学ぶ意欲のある子どもたちへの学習機会を提供するために、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、文化活動など様々な体験教室や学習をし、また地域住民との交流を行いました。

《平成28年度実績》

文小学校において、12名の入級があり、月曜日から木曜日の放課後（14：00から18：00）の時間に実施

○成人式典事業

次世代を担う新成人が式典への出席により社会人となることに対して自覚を持つ機会となり、積極的な社会参加を推進するため、式典を開催し、成人としての自覚だけでなく、中学を卒業した仲間と一緒に集うことで地域への愛着とふるさとに対する意識の高揚が図られました。

(1) 新成人者で組織される実行委員会と事務局で運営

(2) 日時：平成29年1月8日（日）

会場：利根町公民館

区分	男	女	計	備 考
対象者	87人	69人	156人	平成8年4月2日～平成9年4月1日生
出席者	64人	49人	113人	出席率72.4%

○青少年相談事業

青少年相談員による非行防止の巡回・キャラバン、あいさつ、声かけ運動を行い、青少年の健全育成についての啓発に努めました。

必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない
	家庭教育の推進，児童の放課後活動の場の提供や青少年健全育成は，極めて重要であります。
効 率 性 効率的に実施できたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い
	学校と指導員・相談員等が連携し取り組むことで効率的に事業を実施することができました。

達成度	■達成	□概ね達成	□未達成
目標を達成しているか？	<p>家庭教育の向上，児童の居場所確保及び青少年健全育成を目指すため，特に学習内容の充実を図り，目標を達成することができました。</p>		
現状の課題・今後の取り組み等			
<p>家庭教育事業については，平成28年6月に県の訪問指導があり，家庭教育の重点，組織充実や今後の推進施策について指導を受け，平成28年度新規事業として出前家庭教育セミナーを実施しました。内容は学校に出向き保護者を対象に「家庭教育ブック」を活用した講話を行い，家庭の教育力向上に努めました。今後の事業展開としては，幼稚園・保育園を対象とした家庭教育事業の推進が課題となっております。</p> <p>また，国のほうで，平成32年度を目途に児童クラブと放課後子ども教室の一体化運営をするようにとの指導がなされているため，今後は児童クラブとの統合に向けた協議が必要となってきます。現在，文小学校1校のみの指定となっておりますが，布川小学校及び文間小学校についても検討が必要となってきます。</p>			

対 象 施 策	7 生涯学習活動の推進
担 当 課	生涯学習課
推 進 目 標	■生涯学習に関する意識の高揚及び施設の充実を図ります。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【生涯学習意識の高揚】</p> <p>○生涯学習推進事業</p> <p>生涯学習への関心や意欲が高まる中、一人でも多くの町民が活動の機会を得られるよう、生涯学習活動への支援等を実施しました。</p> <p>○生涯学習推進事業</p> <p>生涯学習に関する意識の高揚及び活動への支援を推進し、一人でも多くの町民が生涯学習活動に参加できるよう情報を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報誌「生涯学習ガイドブック」の発行（全戸配布） ・音のまち TONE ふれあいコンサートの開催 ・町民活動情報サイト「とねっと」の運用 <p>【自主的な生涯学習活動の支援】</p> <p>○生涯学習センター管理事業</p> <p>○公民館管理事業</p> <p>生涯学習の地域活動の拠点として、個人・各種団体・グループの活動の場を提供するとともに、生涯学習活動の情報の発信をしています。</p> <p>また、町の社会教育施設は、公共施設相互利用の対象施設となっており、他市町が同じ料金で利用できる協定を結び、一人でも多くの方が活動の機会を得られるようにしています。</p>	
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない 教育基本法第3条「生涯にわたってあらゆる機会に学習できる」の理念実現のためには、極めて重要です。
効 率 性 効率的に実施できたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い ガイドブックや情報サイトにより、効率的に生涯学習推進のアピールをすることができました。
達 成 度 目標を達成しているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コンサートでは音楽を身近に感じてもらえ、生涯学習に対する意識が高まりました。 「とねっと」の運用については、主に体育協会・文化協会の加盟団体が情報を発信しており、新たにパーソナルコミュニケーションの方法を取り入れ、より多くの皆様に情報提供を行いました。

現状の課題・今後の取り組み等

生涯学習への関心や意欲が高まり、一人でも多くの町民が活動の機会を得られるよう、幅広い世代のニーズに合わせた取り組みが必要となります。そのため、現行の「とね広報」、「ホームページ」、「ポスター」等の掲示、掲載に加え、平成28年度新たにパーソナルコミュニケーションの方法を取り入れるなど、今後も広報活動の充実に向け、より多くの皆様に情報提供を行っていきます。

生涯学習事業については、それぞれの興味や趣味に応じた活動や公民館等の講座、グループでの自主的な学習などでも、より高度な内容や専門的な内容も求められるようになってきています。このような動きに対応するためにも生涯学習の環境づくりに取り組む必要があり、学ぶことを通して気軽に社会参加するなど、生涯学習活動を通して活力ある地域づくりを進めていきます。

特に、地域資源を生かしたボランティアによるまちづくり事業としての「音のまち TONE 推進事業」について、今後も住民主導型事業として支援し、より一層の事業展開を目指します。

対 象 施 策	8 生涯学習環境の整備充実
担 当 課	生涯学習課
推 進 目 標	■すべての町民が生涯学習できる機会・場の提供に努めます。

平成28年度の主な取組内容及び事業効果

【社会教育施設の整備充実】

○社会教育施設（公民館，図書館，生涯学習センターなど）管理事業

社会教育施設（公民館，図書館，生涯学習センター，資料館，柳田國男記念公苑）を利用するすべての方々（児童から高齢者まで）が利用しやすい環境を整えるため，常に施設の維持管理を実施しています。

【生涯学習の機会と場の提供】

○生涯学習講座事業

○ふれあい楽集バンク

○公民館講座事業

○図書館管理・運営事業

○生涯学習講座事業

主に，夏休み等の長期休暇を利用し，他の学校や他の学年の児童 生徒との交流を図り，自然体験活動等の機会を提供しました。

また，成人向け講座を開催し，交流の場，学習の機会を提供しました。

	事業・講座名	対象	募集人員	受講者数	開催回数	開催時期
1	子ども茶道体験教室	小学生	40人	41人	3回	夏休み
2	子ども琴体験教室	小学 3～6年生	20人	9人	3回	夏休み
3	子ども華道体験教室	小学生	40人	32人	3回	夏休み
4	縄文式土器づくり教室	小学生	10人	4人	3回	夏休み
5	わくわく体験教室 キーホルダー作り 他	小学 3～6年生	20人	33人	4回	夏休み
6	夏休み親子体験教室 (料理教室)	小学生親子	12組	10組	1回	夏休み
7	〃 陶芸教室	小学生親子	15組	25組	3回	夏休み
8	親子ふれあい講座 (星の観察教室)	小学生親子	30組	44組	1回	2月
9	陶芸体験教室	成人	10人	5人	3回	前期
10	りらくすヨガ講座	成人	20人	20人	7回	後期
11	フラワーアレンジ講座	成人	10人	8人	2回	後期

※昨年度，子ども琴体験教室（受講者数20人），縄文式土器づくり教室（受講者数13人）

○ふれあい楽集バンク

「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、教え合えるよう、10人以上のグループでの教室や講座に対し、登録されたボランティアの方を講師として派遣しています。

《平成28年度実績》

- ・ボランティア登録者数36団体（個人含む。）
- ・派遣者数 0件

○公民館講座事業

児童から高齢者まで幅広い年代を対象とした講座を開講し、生涯学習の拠点となる場を提供しています。

	事業・講座名	対象	募集人員	受講者数	開催回数
1	古典文学「源氏物語・宇治十帖」	成人	50人	41人	9回
2	ふるさとを学ぶ	成人	50人	20人	9回
3	利根川図志	成人	50人	30人	9回
4	らくらく・ふわふわ体操	成人	20人	29人	5回
5	ときめきのアクセサリー	成人	20人	7人	5回
6	知って得するいきいき講座	成人	50人	41人	5回
7	親子DEリトミック	2・3歳児	15組	17組	5回
8	ヨガの呼吸法で明るく楽しく	成人	35人	44人	10回
9	健康・元気に太極拳	成人	25人	23人	8回
10	楽しい生け花	成人	20人	5人	5回

○図書館管理・運営事業

多様化、高度化する町民のニーズに応じた資料や情報を提供するため、約16万冊の蔵書を有し、インターネットによる蔵書検索が行えるサービスを実施しました。

また、情報提供の施設として子どもから高齢者まで気軽に利用できる場所となるよう図書資料の一層の充実と利用者サービスの充実に努めました。

《貸出・利用の状況》

利用登録者数	蔵書冊数	貸出人数	貸出冊数	予約件数
13,367人	161,181冊	30,823人	124,359冊	2,079件

《施設の利用状況》

視聴覚ブース	インターネット	読書室	多目的ホール	第2会議室
850人	1,035人	1,562人	51回 1,242人	20回 123人

《主催行事等》			
行事名	内 容	回数	参加人数
映 画 会	映画の上映	13 回	延べ 292 人
お 話 会	あかちゃんのおはなし会	12 回	延べ 260 人
読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	51 回	延べ 287 人
スタンプラリー	夏休みスタンプラリー	-	111 人
必 要 性 必要不可欠な事業か？	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない 各種講座や施設での主催事業は、生涯学習環境の整備充実には極めて重要です。		
効 率 性 効率的に実施できたか？	<input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い 子どもから成人まで、幅広い年代に効率的に生涯学習機会の提供を行うことができました。		
達 成 度 目標を達成しているか？	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成 各社会教育施設において、住民の学習ニーズに応じた学習講座を展開し、生涯学習の推進が図れました。		
現状の課題・今後の取り組み等			
<p>子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズに合わせ、一人でも多くの町民が生涯学習に関心を持ち、活動の機会を得られるよう、生涯学習センターや公民館を拠点として、様々な学習内容の講座を実施しました。講座については、主に初心者を対象に毎年内容を工夫し、「いつでも・どこでも・だれでも」が生涯にわたり学習することができるよう多様な学習ニーズに応じた学習機会の充実、環境づくりに努めました。</p> <p>図書館では、住民のニーズに応じた資料や情報を収集、整理、保存し、子どもから高齢者まであらゆる年齢層を対象に、情報や資料を提供することが求められています。このような目的に沿って、多種多様な資料の充実が必要不可欠です。今後も、最新の情報や、資料を提供するとともに、インターネットを活用した所蔵情報の提供や予約なども出来るシステムを活用して、町民全域のサービスの向上と、あらゆる年代層への読書支援と情報提供、さらには、読書団体、学校図書室等との連携を図っていきたいと考えます。</p> <p>生涯学習事業の今後の大きな課題としては、ここ数年まったく実施のない「ふれあい楽集事業」をどのような形で推進していくかということです。この事業は、生涯学習ボランティアによるまちづくり事業に位置づけられており、関係機関や登録ボランティア講師との連携、事業の見直し等を図りながら、推進していかなければなりません。</p>			

対 象 施 策	9 文化活動の振興
担 当 課	生涯学習課
推 進 目 標	■文化芸術活動への理解と関心を深めます。
平成28年度の主な取組内容及び事業効果	
<p>【文化活動の支援】</p> <p>文化協会に登録している9部門（66クラブ）による自主的な文化活動が、生涯学習センターや公民館などを拠点に活発に行われていますので、情報提供等の支援を行っています。</p> <p>① 歌謡部門 ② 古典芸能部門 ③ 舞踊部門 ④ 洋楽・洋舞部門 ⑤ 絵画・写真等部門 ⑥ 手工芸部門 ⑦ 編物等部門 ⑧ 茶道・華道部門 ⑨ 一般教養部門</p> <p>【文化団体に所属している会員数（延べ人数） 1, 294人】</p> <p>【文化イベントの充実】</p> <p>○文化芸術事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第32回利根町文化祭 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：11月2日（水）、3日（木） 開催場所：利根町公民館及び利根町保健福祉センター 芸能部門：文化協会 24 団体による舞踊・ダンス・楽器演奏・カラオケ等の発表 芸術部門：文化協会 31 団体による写真・絵画・生け花・手工芸品の展示，お茶の実演 ・秋のコンサート <ul style="list-style-type: none"> 開催日：11月27日（日） 開催場所：利根町公民館 出 演：N響団友オーケストラによるジブリ音楽&名曲クラシック 入場者数：386人 ・映画上映会 <ul style="list-style-type: none"> 毎月第4土曜日 図書館において映画鑑賞会を行っています。 	

<p>【文化施設の整備と利用促進】</p> <p>○公民館管理事業</p> <p>○生涯学習センター管理業務</p> <p>○図書館管理・運営事業</p> <p style="padding-left: 20px;">○公民館管理事業</p> <p style="padding-left: 20px;">○生涯学習センター管理業務</p> <p style="padding-left: 40px;">施設機能の充実強化</p> <p>○図書館管理・運営事業</p> <p style="padding-left: 40px;">図書館の蔵書の充実を図り，利用促進と利便性の向上を図ります。</p>	
<p>必 要 性</p> <p>必要不可欠な事業か？</p>	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>文化・芸術の原点は，生きる希望や力を生み出すものであり，文化芸術活動は極めて重要です。</p>
<p>効 率 性</p> <p>効率的に実施できたか？</p>	<p>■効率よく実施 □概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>文化祭，コンサート等の実施について，町民の皆様がボランティアで協力し，効率的に事業運営ができました。</p>
<p>達 成 度</p> <p>目標を達成しているか？</p>	<p>■達成 □概ね達成 □未達成</p> <p>各種イベントや文化協会等の事業により，多くの町民の参加を得て，文化芸術の振興が図れました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p> <p>利根町公民館，生涯学習センター及び図書館等を拠点に，多くの町民の皆様が自主的に生涯学習及び生涯スポーツ活動を実践しています。</p> <p>芸術文化の振興については，利根町文化協会が核となり，学習成果の発表の場としての文化祭，芸能発表会や芸術展示会など，住民主体で事業を実施しました。公民館コンサートについても，住民参加型事業として音楽を専門とするボランティアを中心に実行委員会を組織し，コンサート出演者の選定から，当日の運営までご協力をいただき実施しました。</p> <p>今後も文化協会への支援を行うとともに，互いに連携を図りながら町民相互の仲間意識を深め，町の文化芸術振興を推進していきます。</p>	

対 象 施 策	10 歴史的財産の保全			
担 当 課	生涯学習課			
推 進 目 標	■町の歴史的財産を保護・継承していきます。			
平成28年度の主な取組内容及び事業効果				
【文化財の保護】				
○文化財保護保存事業				
○柳田國男記念公苑・赤松宗旦旧居管理事業				
○資料館管理事業				
○文化財保護保存事業				
町には国指定文化財「金銅板両界曼荼羅」や、町指定文化財「花輪台貝塚」をはじめ、数多くの文化財や史跡などの歴史的財産があります。				
町からの補助金や、点検確認を行うなどにより適正に管理を行い、保護保存に努めています。				
○柳田國男記念公苑・赤松宗旦旧居管理事業				
・柳田國男記念公苑管理保全				
民俗学者の柳田國男が少年時代すごした母屋は町の芸術文化団体やスポーツ団体等の活動の場所となっているだけでなく、土蔵を利用した資料館を併設することで、町内外に広く柳田國男を知ってもらう場として活用されています。				
入館者数				
年	月	集会室使用者数 (団体利用)	入館者数	開館日数
平成28年	4月	75人	139人	25日
	5月	100人	117人	23日
	6月	99人	67人	26日
	7月	173人	67人	27日
	8月	247人	81人	25日
	9月	185人	56人	25日
	10月	120人	112人	26日
	11月	89人	96人	24日
	12月	76人	43人	22日
平成29年	1月	80人	58人	23日
	2月	1,101人	153人	25日
	3月	566人	177人	27日
合 計		2,911人	1,166人	298日

・赤松宗旦旧居管理保全

江戸時代末期の布川出身の医者であり、地誌『利根川図志』を執筆した赤松宗旦の住居を復元し、家屋を資料館とし、赤松宗旦の功績や当時の布川の様子を知ってもらうための貴重な資料をあわせて展示公開しています。

○資料館管理事業

・歴史民俗資料館

資料館では埋蔵文化財、民俗資料、民具 600 点、古文書 3 万点など歴史的に貴重な資料を収蔵・展示しております。また、定期的に展示内容を見直すなど、利用者の確保に努めております。

保管庫内の資料等の薫蒸処理を行うことにより、防虫殺菌し、保存状態を良好に保つよう努めております。

入館者数

年	月	入館者数	開館日数
平成 28 年	4 月	73 人	21 日
	5 月	37 人	19 日
	6 月	109 人	22 日
	7 月	49 人	23 日
	8 月	77 人	20 日
	9 月	35 人	21 日
	10 月	39 人	22 日
	11 月	20 人	19 日
	12 月	20 人	19 日
平成 29 年	1 月	31 人	19 日
	2 月	27 人	15 日
	3 月	80 人	23 日
合 計		597 人	243 日

【伝統文化の保存・継承】

○利根地固め唄保存会補助金

○利根地固め唄保存会補助金

茨城県無形文化財に指定されている「利根地固め唄」は、「利根地固め唄保存会」の会員により、次世代を担う子どもたちへの指導や、町内外のイベント参加へ積極的に参加し、伝統芸能の継承活動を進めています。

<p>5月21日(土) 第65回利根川水系水防訓練 8月21日(日) 利根町民納涼花火大会 11月12日(土) もんまっこまつり 3月25日(土) 第4回利根民謡・民舞の祭典 3月30日(木) 一芸と川のコンサート</p>	
<p>必 要 性 必要不可欠な事業か?</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 必要性が少ない</p> <p>歴史的財産は、町民をはじめ広くは国の財産といえるものもあり、これらを後世に伝え、保存・継承していくことは、極めて重要と考えます。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか?</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い</p> <p>各施設については、展示等を見やすく設置し、パンフレットを用意し展示物の内容をわかりやすくするなどの工夫をしております。また、広報活動の充実という点でホームページを利用し広く周知することにも努めています。</p>
<p>達 成 度 目標を達成しているか?</p>	<p><input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成 <input type="checkbox"/> 未達成</p> <p>町の歴史的財産については各施設の展示やホームページ等により、保護・継承のための必要性を周知しました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p> <p>町では、歴史的景観や文化財の持つ意義を深く認識し、歴史遺産の適切な保護活用を目的として指定登録制度の推進、指定文化財保存の実施、所有者・関係機関との連携強化に取り組み、文化財の適正保存に努めています。</p> <p>「地固め唄保存会」においては、本年度も文間小学校4年生を対象に演技指導を行い、各機関からの依頼により、様々なイベントで「地固め唄の実演」を披露しました。会員の高齢化が進んでいることから、会員の確保と次世代への継承を促進することが急務となっています。各イベントに積極的に出演し伝承活動を行い、今後も引き続き活動を推進してまいります。</p> <p>歴史民俗資料館においては、地域にかかわる資料の収集・保存・調査を進め、魅力ある資料館づくりを進めます。また、文化財や資料の劣化を最小限にとどめる措置も必要と考えます。今後、資料のデータベース化を進め、貴重な歴史的資料を後世に伝える活動が必要となります。</p>	

対 象 施 策	1 1 生涯スポーツの推進		
担 当 課	生涯学習課		
推 進 目 標	■だれもが気軽にスポーツできる環境づくりに努めます。		
平成28年度の主な取組内容及び事業効果			
【スポーツ・レクリエーション活動の促進】			
○町民運動会事業			
○利根町駅伝大会実行委員会補助金			
○学校体育施設開放事業			
○豊島杯体育大会補助金			
○利根町体育協会補助金			
○町民運動会事業			
利根町の総スポーツ祭として、幼児から高齢者まで幅広い年齢を対象に一般種目、対抗リレー、アトラクション等多種多様な種目・演技を行い、健康保持増進や地域間交流等地域コミュニティの活性化が図れました。			
	開催日	開催場所	参加人数
第45回利根町町民運動会	平成28年5月28日(土)	利根中学校	2,088人
○利根町駅伝大会実行委員会補助金			
・利根中学校をスタート・ゴールとする周回コース。			
・1チーム8人構成。(補欠2人を含む)			
・小学生男子・女子，中学生男子・女子，一般男子・女子の全6部門にて開催。			
	開催日	開催場所	参加人数
第32回利根町駅伝大会	平成29年2月19日(日)	利根中学校	85チーム (596人)
○学校体育施設開放事業			
地域住民スポーツ活動に供する事業として学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設の効果的な利用促進を事業として推進しました。			
開放施設 ・格技場 ・体育館 ・グラウンド			
○豊島杯体育大会補助金			
利根中学校生徒と近隣中学校生徒の交流が深められ、バレーボール，バスケットボール大会を通じて、生涯スポーツの振興と競技の技術向上が図れました。			

○利根町体育協会補助金

町民体育の振興と各競技団体の育成及び強化を図り、スポーツ活動を通して青少年の健全な心身の育成、住民相互の親睦や健康増進と体力の向上、明るい活力のある地域社会づくりに努めました。

体育協会として県主催の研修会、大会等に参加し、また、利根町民運動会、利根町駅伝大会等の運営にもスタッフとして協力をしています。

利根町体育協会登録団体数・・・18団体（スポーツ少年団含む）

【スポーツ団体・指導者の育成】

○スポーツ推進委員事業

○スポーツ推進委員事業

生涯スポーツの振興を目指し、各種事業の実施に係る指導助言や連絡調整など、スポーツの普及と競技力、技術向上を推進するため、学校や地域と連携を図りながら実技指導や大会の開催を行い、指導者の養成と人材の確保に努めました。

【スポーツ・レクリエーション施設の充実】

○学校体育施設開放事業

○学校体育施設開放事業

小中学校（4校）の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で町民に開放し、社会体育の振興と普及を図っています。

施設の管理については、整備など含め学校及び学校教育課と連携し、適切に行っています。

<p>必 要 性 必要不可欠な事業か？</p>	<p>■必要性が高い □妥当である □必要性が少ない</p> <p>生涯を通じて健康の保持増進やレクリエーションを目的に、「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に参加できるスポーツの環境づくりは、今後の生涯スポーツの推進に必要です。</p>
<p>効 率 性 効率的に実施できたか？</p>	<p>□効率よく実施 ■概ね効率よく実施 □効率が悪い</p> <p>生涯スポーツの普及のため、体育協会やスポーツ少年団等の団体補助や健康増進、青少年健全育成等に取り組み、地域住民への効率的な利用促進として学校体育施設開放、町民運動会開催に伴いスポーツ・レクリエーションの機会を提供し、また、地域住民間の交流等が効率的に行われました。</p>

<p>達成度 目標を達成しているか？</p>	<p> <input type="checkbox"/>達成 <input checked="" type="checkbox"/>概ね達成 <input type="checkbox"/>未達成 </p> <p>生涯スポーツにおいて、スポーツに親しむことができる環境整備づくりを行い、全町民を対象に町民運動会等を開催し、子どもや女性、障害者、高齢者等のスポーツへの参加機会の確保など幅広く普及活動を行い、環境整備づくりをすることができました。</p>
<p>現状の課題・今後の取り組み等</p>	
<p>生涯スポーツは、スポーツに親しめる環境づくりとして、子どもから高齢者まで、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを通じて、健康増進や体力の向上など、地域で豊かに暮らすために重要です。また、健康づくりだけでなく、地域間交流・世代間交流などを通して地域スポーツの活性化を図り、幅広い世代の人々のニーズに合わせたスポーツ・レクリエーションの機会を提供し、各種大会やイベントを通じて年齢やそれぞれの体力、地域の特性や実情に応じた生涯スポーツの普及及び啓発に取り組むことにより、一層の健康増進、体力の向上を推進します。</p> <p>本年度においても、スポーツ活動の推進を図るため、一人でも多くの町民が気軽に活動できる生涯スポーツ推進事業として、町民総参加のスポーツ活動の場として利根町総スポーツ祭「町民運動会」を毎年開催しております。参加者について近年少子高齢化、人口減少等に伴い、参加者が年々減少しております。対策として体育協会、スポーツ推進委員などと連携し意見を取り入れながら、大会の運営や応援など、町民が様々な形で参加できるよう、プログラム内容の見直しなど毎年行っておりますが、参加者減少の歯止めを掛けることが難しい状況であります。今後は、若年層の参加しやすい若い力の企画など、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々がニーズに合わせて参加しやすい誰もが気軽にスポーツに親しめるよう内容や形態を工夫することにより、町民の交流による地域の活性化につながる魅力あふれる伝統のある町民運動会として、生涯スポーツ・レクリエーション活動に参加する機会を提供します。</p> <p>今後は、スポーツ活動を楽しめるよう、学校施設開放の有効利用、スポーツ推進委員、体育協会及びスポーツ団体などと連絡調整を行い、質の高いスポーツ指導者の人材発掘や育成に取り組み、各種イベントの開催等を図るとともに、町民誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツの環境づくりを目指したいと考えます。</p>	

IV 教育委員会の運営状況

1 会議開催状況

会 議	回数	議案件数	報告件数	その他
定例会	1 2	2 4	2 3	—
臨時会	1	1	—	—

2 審議案件一覧

○議案

議案番号	議 案 名	備 考
2 6	平成 28 年度教育委員会所管の工事計画について	4 月定例会
2 7	平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 1 号）教育関係予算の意見の申出について	5 月定例会
2 8	工事請負契約の締結に係る意見の申出について	〃
2 9	財産の取得に係る意見の申出について	〃
3 0	利根町立布川小学校の校舎及び屋内体育館による電波障害に関する基準要綱を廃止する告示について	6 月定例会
3 1	利根町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について	〃
3 2	利根町教育委員会事務点検評価員の委嘱について	〃
3 3	平成 29 年度使用小学校教科用図書の採択について（継続採択）	7 月定例会
3 4	平成 29 年度使用中学校教科用図書の採択について（継続採択）	〃
3 5	平成 29 年度使用小学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	〃
3 6	平成 29 年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	〃
3 7	障害を理由とする差別の解消の推進に関する教育委員会職員対応要領の策定について	〃
3 8	平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 3 号）教育関係予算の意見の申出について	8 月定例会
3 9	平成 27 年度利根町一般会計歳入歳出決算教育関係決算の意見の申出について	〃
4 0	平成 27 年度教育委員会事務点検評価報告書（案）について	〃
4 1	平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 5 号）教育関係予算の意見の申出について	11 月定例会

議案番号	議 案 名	備 考
1	平成 28 年度利根町一般会計補正予算（第 7 号）教育関係予算の意見の申出について	2 月定例会
2	平成 29 年度利根町一般会計予算教育関係予算の意見の申出について	〃
3	工事請負契約の締結に係る意見の申出について	〃
4	夏休みの短縮について	〃
5	平成 29 年度教職員の定期異動の内申について	3 月臨時会
6	利根町町立学校管理規則の一部を改正する規則について	3 月定例会
7	利根町特別支援教育就学奨励費事務取扱要綱の制定について	〃
8	利根町社会教育主事の資格認定要綱の制定について	〃
9	利根町社会教育指導員の委嘱について	〃

○報告

報告番号	報 告 名	備 考
7	利根町放課後子どもプラン運営委員の委嘱の専決処分について	4 月定例会
8	利根町教育委員会職員人事異動の専決処分について	〃
9	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 28 年 3 月分)	〃
10	平成 28 年度利根町学校教育指導方針の専決処分について	〃
11	利根町いじめ防止基本方針の一部改正の専決処分について	〃
12	利根町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の専決処分について	〃
13	利根町教育支援委員会委員の委嘱の専決処分について	5 月定例会
14	教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について (臨時職員)	〃
15	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 28 年 4 月分)	〃
16	利根町立学校評議員の委嘱の専決処分について	6 月定例会
17	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 28 年 5 月分)	〃
18	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 28 年 6 月分)	7 月定例会
19	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成 28 年 7 月分)	8 月定例会

報告番号	報 告 名	備 考
20	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年8月分)	9月定例会
21	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年9月分)	10月定例会
22	教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について (臨時職員)	11月定例会
23	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年10月分)	〃
24	教育長に委任された事務の管理及び執行状況等について	12月定例会
25	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成28年11月分)	〃
1	教職員の休暇等の専決処分について	2月定例会
2	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成29年1月分)	〃
3	平成28年度利根町教育支援委員会諮問件数及び審議結果 報告について	〃
4	利根町教育委員会後援名義の使用承認について (平成29年2月分)	3月定例会

3 その他の活動

- 総合教育会議
 - ・平成28年11月28日 平和教育について
 - ・平成29年 2月28日 学力向上について
- 研 修 会 等
 - ・茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会
 - ・茨城県市町村教育委員会教育委員研修会
 - ・市町村教育委員研究協議会（第1回）
- 各 種 行 事
 - 小中学校入学式，卒業式，運動会（体育祭），町陸上記録会，音楽を楽しむ会，町民運動会，文化祭，成人式，人権講演会
- ホームページによる周知
 - ・教育委員会委員名簿
 - ・教育委員会議案等結果一覧及び会議録
 - ・教育長交際費
 - ・教育委員会の後援名義使用について
 - ・教育委員会事務の点検評価報告書
 - ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する教育委員会職員対応要領

4 教育委員会後援名義の使用承認一覧

承認月	申請団体名	事業の名称等	担当課
4月	(一社)茨城南青年会議所	茨城ちびっこオセロキャラバン	学校教育課
〃	常総100km徒歩の旅運営協議会	第10回常総100km徒歩の旅	生涯学習課
〃	利根写楽会	第31回利根写楽会写真展	〃 (公民館)
5月	大好きいばらき県民会議	第27回大好きいばらき作文コンクール	学校教育課
〃	(一社)茨城南青年会議所	利根フェスティバル	〃
〃	(特非)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会茨城支部	FPフォーラム in 県南 2016 輝け!子どもの未来 ～知っておきたいお金のこと～	〃
〃	東京瓦斯(株)常総支社	第10回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト茨城大会	〃
6月	(一社)マゼンダハートサポート	第3回こどもアートフェスタ	〃
〃	(公社)日本青年会議所 関東地区茨城ブロック協議会	第45回茨城ブロック大会 常陸太田大会記念事業 茨城を彩る自然の魅力	〃
〃	茨城県中学校体育連盟	茨城県中学校新人体育大会	〃
〃	美術家協会光龍会	第22回光龍会絵画展	生涯学習課 (公民館)
〃	利根町体育協会テニス部	第33回利根町テニス大会	生涯学習課
7月	利根町体育協会 グラウンドゴルフ部	第3回利根町グラウンドゴルフ大会	〃
8月	(一社)茨城南青年会議所	みらいハロウィン2016 ～江戸の街を仮装で埋め尽くせ～	〃
〃	利根町卓球連盟	第36回利根町卓球大会	〃
〃	テニスクラブ・マギーノ	マギーノカップ2016 第2回ジュニア車いすテニストーナメント	〃
〃	利根町バレーボール連盟	第33回利根町長杯バレーボール大会	〃
〃	(公財)茨城県体育協会	第33回茨城県民駅伝競走大会	〃

承認月	申請団体名	事業の名称等	担当課
9月	利根町野球連盟	利根町秋季野球大会	生涯学習課
〃	茨城県スポーツ少年団 県南取手ブロック交流会	茨城県スポーツ少年団県南取手ブ ロック交流会ヘルシーボール大会	〃
10月	取手市・守谷市・利根町 教育研究会	第28回 つばさ展 (取手・守谷・北相馬地区小・中 学校特別支援学級合同作品展)	学校教育課
〃	ひたち野モラロジー事務 所	モラロジー生涯学習セミナー	生涯学習課
11月	利根町「町民絵画展」実 行委員会	第5回利根町「町民絵画展」	生涯学習課 (公民館)
1月	NPO 法人 子どもみらい飛行	第5回 TOSS 全国 1000 会場 教え方セミナー in 茨城	学校教育課
〃	第4回利根町民謡・民舞 の祭典実行委員会	第4回利根町民謡・民舞の祭典	生涯学習課
2月	利根町体育協会 ソフトボール部	第15回利根町女子親善ソフトボ ール大会	〃
〃	利根写楽会	第33回利根写楽会写真展	生涯学習課 (公民館)
3月	こども天国運営協議会事 務局	第40回 こども天国	学校教育課
〃	竜 KOI 舞祭実行委員会事 務局	竜 KOI 舞祭 2017	〃
〃	利根町文化協会 第5部門	利根町文化協会第5部門 第17回合同美術展	生涯学習課 (公民館)

V 点検評価員の意見について

平成28年度分の教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に当たって、客観性を確保するため、学識経験を有する方から意見を頂きました。

1 利根町教育委員会事務点検評価員（学識経験者）

（50音順 敬称略）

氏名	備考
市村 捷二	・元民生委員児童委員協議会会長 ・文小学校学校評議員
巻島 久	・元利根町校長会会長 ・元利根町立布川小学校校長

2 意見聴取日等

- (1) 第1回 平成29年 7月 4日（火） 場所 利根町役場4階A会議室
(2) 第2回 平成29年 8月 2日（水） 場所 利根町役場4階A会議室
(3) 第3回 平成29年 8月23日（水） 場所 利根町役場4階A会議室

3 主な意見

(1) 全体に関する意見

○全項目の評価欄を前年対比で見ると、効率性及び達成度の評価が上がっており運営全般が良い方向で実施されていること、また、昨年度の点検評価報告書の意見に対し積極的に改善されるなど、非常に評価できる。

●評価欄において、どのような取り組みに効果があり評価につながったなど具体的にわかるような表現を用いることにより、次年度以降の事務改善につながると思われるので、表現方法等検討していただきたい。

●新規事業については、1年目の評価を厳正に行い成果や課題を明確にし、次年度に改善を加えられるよう他の事業以上に意識して行っていただきたい。

(2) 各施策に関する意見

1 就園・就学支援の充実

○子どもの貧困が問題視されている中、補助限度額等の見直しを行いながらの実施は評価できる。財政的な面での不安はあるものの、子供たちが安心して勉強できる環境を整えられるよう、これからも適切な支援を行っていただきたい。

2 義務教育環境の整備

- 一昨年度のエアコン設置、昨年度の布川小学校及び利根中学校の大規模改造工事が完了し、学習環境が整備されたことは、大いに評価できる。今後は、維持管理において全校統一的な対応を図り、より快適な教育環境の維持を図っていただきたい。
- 教育用パソコン、タブレット、電子黒板といったICT機器の導入については、非常に評価できる。今後は、学校現場でICT機器を活用し、学力向上、特色ある授業づくりを目指し取り組んでいただきたい。

3 義務教育内容の充実

- 家庭環境の変化による保護者と学校間の意思疎通が難しくなっている状況が見受けられ、教育相談員、スクールソーシャルワーカーの要望が高まっている中、相談員の増員、学校への派遣日数の増などの対応は、非常に評価できる。
- 非常勤講師配置事業及び適応指導教室設置事業については、非常に重要な事業と思われるので、継続して事業が行われるためにも、学校とのヒアリングを行うなど客観的な評価、課題等を明確にし、取り組んでいただきたい。
- 東京藝術大学との交流事業は、子供たちが専門的な知識、技能に触れられるいい機会となり、新しい視野を広げる効果が期待でき非常に評価できる。
- 特別支援教育支援員派遣事業については、授業の効率化、教育効果等非常に重要な役割がある事業で、大いに評価でき、今後も継続していただきたい。

4 学校給食の充実

- 限られた予算の中で地産地消の取り組みを実施するなど、評価できる。給食設備が整備された今後は、英知を出した献立により給食の水準を高め、健康増進と豊かな心を育む給食を提供していただきたい。
- 全校がドライシステム化となりハード面においては整備されましたが、より一層の衛生管理を徹底する上でも、運営する調理員に対する研修に力を入れ、向上を図っていただきたい。

5 学校保健の充実

- 学校施設の学校環境衛生管理基準に基づく臨時検査を実施するなど、健康診断以外での健康管理の対応においては、非常に評価できる。
- メンタルヘルスや生活習慣の乱れなどは、今の子供たちの現状として大きな問題になっていることから、養護教諭やスクールカウンセラー、心の相談員との具体的な連携在り方を検討し、今後取り組んでいただきたい。

6 家庭・地域社会との連携強化

- ホームページによる学校行事、活動状況の開示、学校だよりの地区回付など、積極的に地域に密着した情報を提供し、開かれた学校づくりを推進することについては、評価できる。

- 児童クラブ及び放課後こども教室の指導員の方と学校関係者が連携し、子供たちの情報を交換するなど、きめ細かい対応を検討していただきたい。
- 登下校時の見守り等に関しては、昨年度も指摘しておりますが、高齢者世帯が増え、空洞地帯が発生し見守り等ができない地域が増えるなど、今後の防犯対策について、検討していただきたい。

7 生涯学習活動の推進

- 幅広いニーズに対応した生涯学習の環境・分野の取り組みと広報活動については、達成度、現状の課題・今後の取り組み等についての記載内容など、非常に評価されますが、取り組み内容が今年の報告書と同一となっており、評価の内容、状況等が報告書の中でわかるように工夫していただきたい。

8 生涯学習環境の設備充実

- 子供から高齢者まで幅広いニーズに合わせた講座等の実施状況を表にまとめるなど、非常にわかりやすく評価できる。今後も町民のニーズにあった講座等を多く取り入れ、楽しく参加できる学習の場を提供されることを期待します。

9 文化活動の振興

- 公民館を中心に町の施設全般を使用して、生涯学習課支援による自主的な文化活動が定着し活発に行われていることは、非常に評価できる。

10 歴史的財産の保全

- 資料館においては、以前実施されたようなイベントや展示の特集を組むなど、町民の方々が、町の歴史的財産に興味を持つような工夫や資料館の存在感が出せるような工夫を期待します。

11 生涯スポーツの推進

- 体育館の学校開放については小中学校の施設を利用するしかなく生涯スポーツの推進には欠かせない状況で、各種団体に効率的に貸し出し配慮されていることは、大変評価できる。引き続き利用者同士が気持ちよく利用できるよう努めていただきたい。

※改善を望む意見は●で表記しています。